

# 平成22年度 福島県ソフトバレーボール全国大会予選会 開催要項（案）

下記の全国大会に福島県代表として出場するチームを決定するため、この要項により予選会を実施する。

全国スポレク祭	富山県射水市（10月16日～18日）
全国シルバーフェスティバル	鹿児島県霧島市（10月22日～24日）
全国レディース&メンズ交流大会	愛媛県松山市（9月17日～19日）

- 1 主催 福島県ソフトバレーボール連盟
- 2 主管 相双ソフトバレーボール連盟
- 3 後援 相馬市教育委員会 福島民報社 福島民友新聞社（各後援団体へ申請中）
- 4 オフィシャルボール (株)モルテン (株)ミカサ
- 5 期日 平成22年5月16日（日）
- 6 会場 相馬市 相馬アリーナ  
相馬市中村北町 55-1 TEL 0244-37-2309
- 7 日程 受付 8：30  
代表者会議 9：00  
開会式 9：15  
競技開始 9：45
- 8 競技方法 予選種目毎に「予選リーグ・リンク戦」後「決勝トーナメント戦」を行う。

## 9 参加資格

### (1) 共通事項

平成22年度(財)日本バレーボール協会及び福島県ソフトバレーボール連盟に登録されたチーム及びその構成員であること。

本大会で全国大会出場の資格を得た場合、その大会への出場を辞退することのないチームであること。違反チーム及び構成メンバーは1年間の出場停止処分とする相互審判のため審判のできる者（リーダー資格）がチーム構成員に含まれていること。

審判の際リーダーのワッペンを着用することが望ましい

この大会は、全国大会予選のため、各全国大会種目の選手構成要件を満たすこと。

また、不測の事態が生じた場合でも棄権を回避できる様、種目別選手構成の項に明記した交代選手を含む構成で参加すること。

大会当日、選手構成条件に満たないチームは参加申し込み後の棄権とみなし同様の処罰を与える

## (2) 各全国大会種目別選手構成

### 全国スポレク祭

- ・トリムの部 コート内には常に40歳代、50歳以上の男女各1名で競技  
(年齢は全国大会要項に基づく4月1日現在とする)
- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成 (競技者は40歳代、50歳以上の男女各2名、計8名で参加すること)  
6・9人制バレー全国大会出場経験者は50歳以上であること

### 全国シルバーフェスティバル

- ・コート内には常に50歳代、60歳以上の男女各1名で競技  
(年齢は全国大会要項に基づく平成23年4月1日現在とする)
- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成 (競技者は50歳代、60歳以上の男女各2名、計8名で参加すること)

### 全国レディース&メンズ交流大会

- ・コート内には常に39歳以下1名と40歳以上3名の4名で競技  
(年齢は全国大会要項に基づく平成23年4月1日現在とする)
- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成 (競技者は39歳以下2人、40歳以上4人、計6人以上で参加すること)

### 全種目、いかなる場合でも上下年代の代理を行なう事はできない

10 表彰 全国大会予選会のため表彰は行わない。

11 参加料 1チーム 2,000円  
大会当日、受付で徴収します。  
参加申込み後の棄権でも参加料の徴収は行います。

12 参加申込み 別紙参加申込書に必要事項を記入のうえ 4月21日(水)まで  
問い合わせ先 県ソフトバレーボール連盟会長 庄司勝利 宛に直接申込むこと。  
〒960-0602 伊達市保原町字久保 63-2  
TEL & FAX 024-575-5127

## 13 その他

- (1) 参加チーム数により、競技方法の変更を行なう場合がある。
- (2) 監督は選手を兼ねることはできるが複数チームの監督及び選手を兼ねることはできない。
- (3) 相互審判で運営するため、リーダーのワッペン、ホイッスル(長・短)を準備すること。
- (4) 大会時の傷害について、応急手当は主催者側が行なうが、それ以後の責任は負わない。従って、参加者はスポーツ傷害保険に加入のうえ大会に参加することが望ましい。
- (5) 参加申し込み後に棄権したチームは理由書を提出すること。理由書の内容によりチーム及び構成員へ以下の処分を決定する。  
文書による警告 次期大会への出場停止 1年間大会への出場停止
- (6) ソフトバレーボールの大会は、参加者全員による「準備」「運営」「後片付け」を協力し行なう大会です。